

改善計画書

施設名 名張養護学園

(担当者 施設長 奥 昭徳)

(作成年月日

平成25年3月5日作成)

(施設として特に優れている点)	1	子どもの発達・成長に応じたアセスメントの実施・発達チェックを活用した支援計画。						
	2	各学校との連携、個々の子どもの状況を把握する為の懇談会の実施。						
	3	ボランティアの受け入れ。						
	4							
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すべし	1	性に関する職員研修・性教育	職員の研修・子どもへの性教育実施	1年	H25.6	H26.3	児童相談センターの協力を得て保健師による性教育の受講。職員研修と子どもへの性教育を年間計画により実施していく。	
	2	自立支援計画の策定	子どもの合意・理解が得られる支援目標の設定	継続	H25.4		現行作成手順に子どもの理解が深められる説明を加え、自立支援の目標策定を行っていく。	
	3	意見箱の設置	相談窓口など複数の相談方法を確立	継続	H25.4		子どもの意見を吸い上げる手順作成。研修参加による技量の向上を図っていく。	
	4	施設の生活が分かるようなパンフレット作成	記載事項を見直し、分かりやすいものを作成	継続	H25.3		見直しを重ね作成し、配布する。	
	5	運営理念や基本方針の周知	理解しやすく工夫した表記	継続	H25.4		パンフレットへの記載、子ども・保護者への説明と配布。	
工夫	1	ボディソープ・シャンプー等の個人所有	子どもの意向を反映した日用品の使用	継続	H25.4		子どもの意見を聞き、議論検討し使用につなげる。	
	2	子どもの自治会組織	子どもの意見が反映され、職員と一緒に立案し行動できる活動	継続	H25.4		ティータイムを全児童に拡張し、行事・行楽等に対する子どもの意見を反映する取組みを行い、組織を編成していく。	
	3	地域との交流	積極的な地域への参加	継続	H25.4		地域子ども会役員を引き受け、施設の人的機能を地域に提供していく。また、地域からのボランティアを受けていく。	
	4	標準的な実施方法	状況に応じた共通の支援実施方法を作成	継続	H25.4		支援実施方法を文書化し、検証・見直しを繰り返しながら共通の認識が図れるものを作成。	
	5							
予算	1	居室のあり方について個室化等検討	改築時に個室化への要望・配慮を取り入れる	3年	H25年	H27年見込み	現行スペースでの配慮を検討していくとともに、法人事務局へ改築時に個別化が図れるよう要望していく。	
	2							
	3							
	4							
	5							